

南区保健福祉センターにおける 高齢者の保健福祉に関する取り組み

目 次

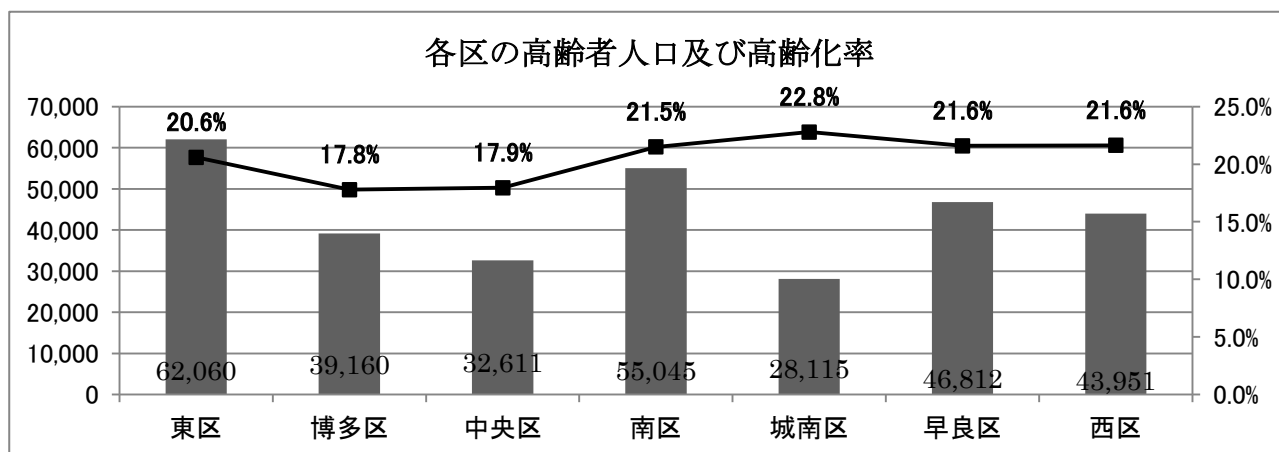
1	高齢者の概況	- 2 -
2	要介護（要支援）認定状況 ※第1号被保険者のみ	- 4 -
3	高齢者に関する総合相談支援	- 5 -
4	高齢者の権利擁護	- 7 -
5	認知症高齢者の支援体制	- 8 -
6	介護予防事業	- 11 -
7	地域の特性に応じた地域包括ケアの推進	- 13 -
8	南区高齢者福祉の実施状況	- 16 -

1 高齢者の概況

(1) 福岡市の区別高齢者人口

(平成27年度末現在)

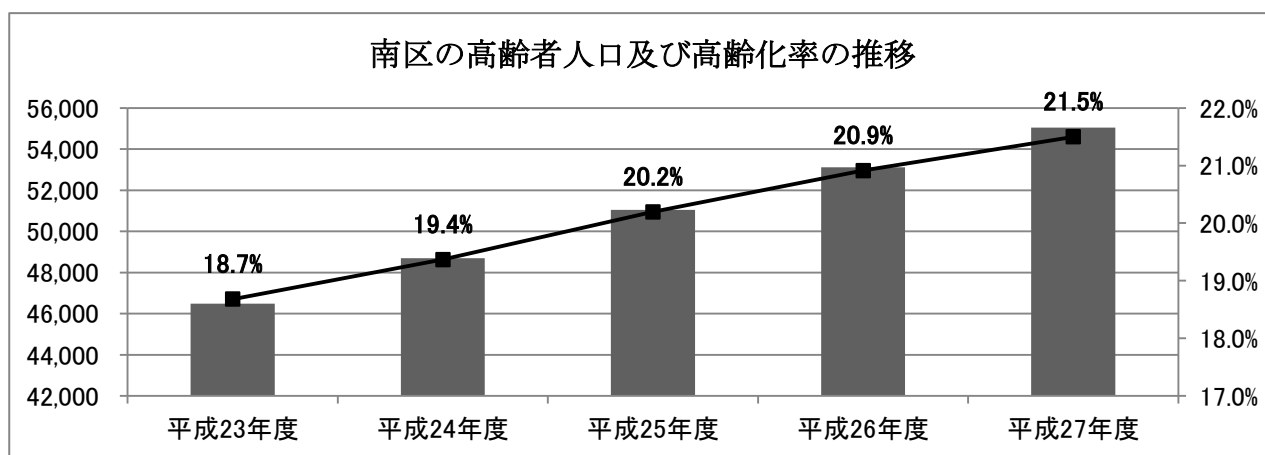
	市全体	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総人口	1,502,647	301,394	220,145	181,689	256,035	123,350	216,829	203,205
高齢者人口	307,754	62,060	39,160	32,611	55,045	28,115	46,812	43,951
高齢化率	20.5%	20.6%	17.8%	17.9%	21.5%	22.8%	21.6%	21.6%



(2) 南区の高齢者人口の推移

(各年度末現在)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
南区人口	248,827	251,426	252,773	253,987	256,035
高齢者人口	46,480	48,691	51,046	53,117	55,045
高齢化率	18.7%	19.4%	20.2%	20.9%	21.5%
市全体人口	1,447,485	1,459,411	1,474,999	1,487,970	1,502,647
高齢者人口	257,660	270,185	283,926	296,526	307,754
高齢化率	17.8%	18.5%	19.2%	19.9%	20.5%



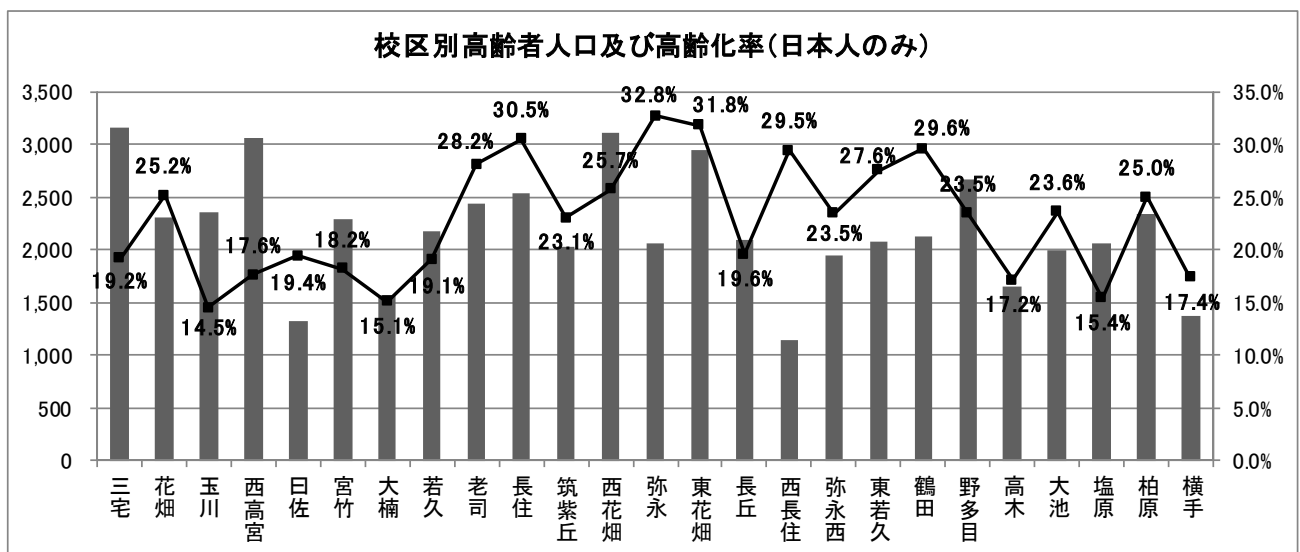
(3) 南区の校区別高齢者人口 (日本人のみ)

(平成27年度末現在)

	三宅	花畑	玉川	西高宮	日佐	宮竹	大楠	若久	老司
総人口	16,483	9,133	16,194	17,366	6,841	12,589	10,418	11,424	8,644
高齢者人口	3,160	2,302	2,354	3,065	1,328	2,291	1,572	2,183	2,434
高齢化率	19.2%	25.2%	14.5%	17.6%	19.4%	18.2%	15.1%	19.1%	28.2%

	長住	筑紫丘	西花畑	弥永	東花畑	長丘	西長住	弥永西	東若久
総人口	8,326	8,829	12,114	6,279	9,279	10,661	3,853	8,275	7,543
高齢者人口	2,541	2,038	3,116	2,058	2,953	2,088	1,136	1,943	2,082
高齢化率	30.5%	23.1%	25.7%	32.8%	31.8%	19.6%	29.5%	23.5%	27.6%

	鶴田	野多目	高木	大池	塩原	柏原	横手
総人口	7,210	11,402	9,612	8,430	13,418	9,391	7,964
高齢者人口	2,136	2,678	1,649	1,992	2,068	2,349	1,382
高齢化率	29.6%	23.5%	17.2%	23.6%	15.4%	25.0%	17.4%

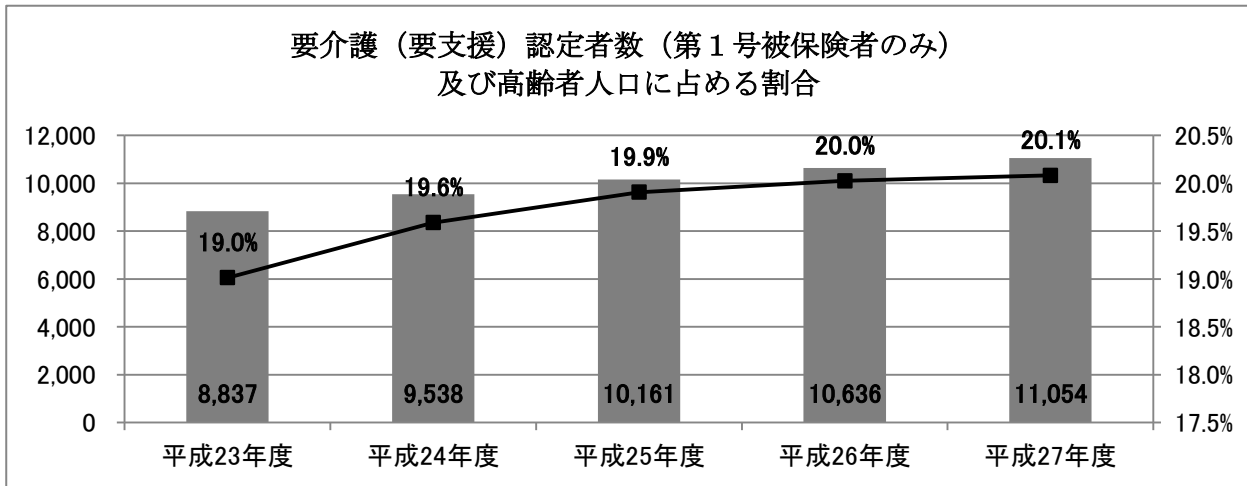


2 要介護（要支援）認定状況 ※第1号被保険者のみ

(1) 南区の要介護（要支援）認定状況の推移

(各年度末現在)

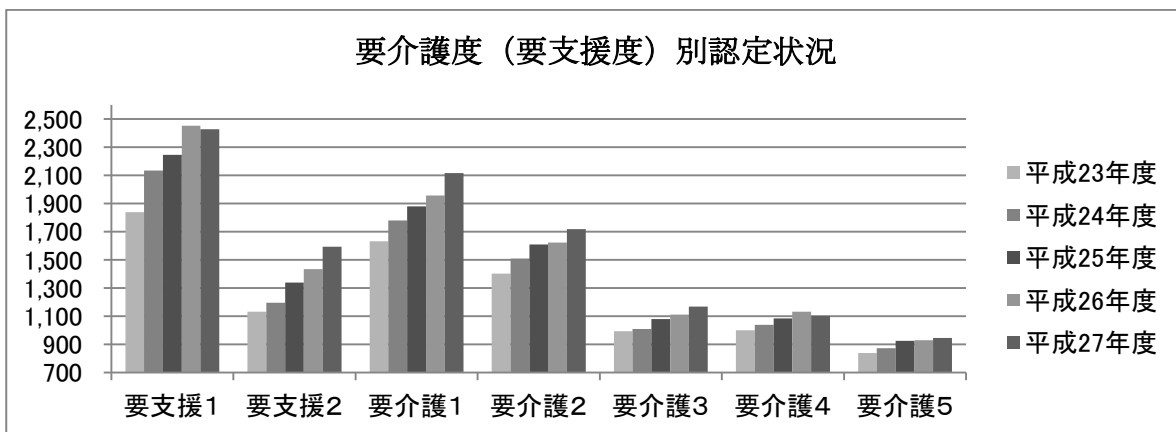
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
高齢者人口	46,480	48,691	51,046	53,117	55,045
認定者数	8,837	9,538	10,161	10,636	11,054
高齢者人口に占める割合	19.0%	19.6%	19.9%	20.0%	20.1%



(2) 南区の要介護（要支援）別認定状況の推移

(各年度末現在)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
要支援1	1,839	2,133	2,246	2,451	2,426
要支援2	1,132	1,196	1,339	1,434	1,594
要介護1	1,632	1,779	1,879	1,956	2,115
要介護2	1,403	1,509	1,608	1,623	1,719
要介護3	993	1,010	1,080	1,112	1,169
要介護4	1,000	1,038	1,085	1,131	1,102
要介護5	838	873	924	929	945
計	8,837	9,538	10,161	10,636	11,070



3 高齢者に関する総合相談支援

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしく暮らし続けることができるように、健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その人の身体状況に適したアドバイスを行うなど、高齢者が自立した生活が続けられるよう、区及び地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）において支援する。

なお、地域包括支援センターについては、平成27年度に7センターから11センターと増設し、より身近な地域で相談できる体制づくりを行った。（市内39センター→57センター）

各地域包括支援センターの担当圏域

【平成26年度まで】

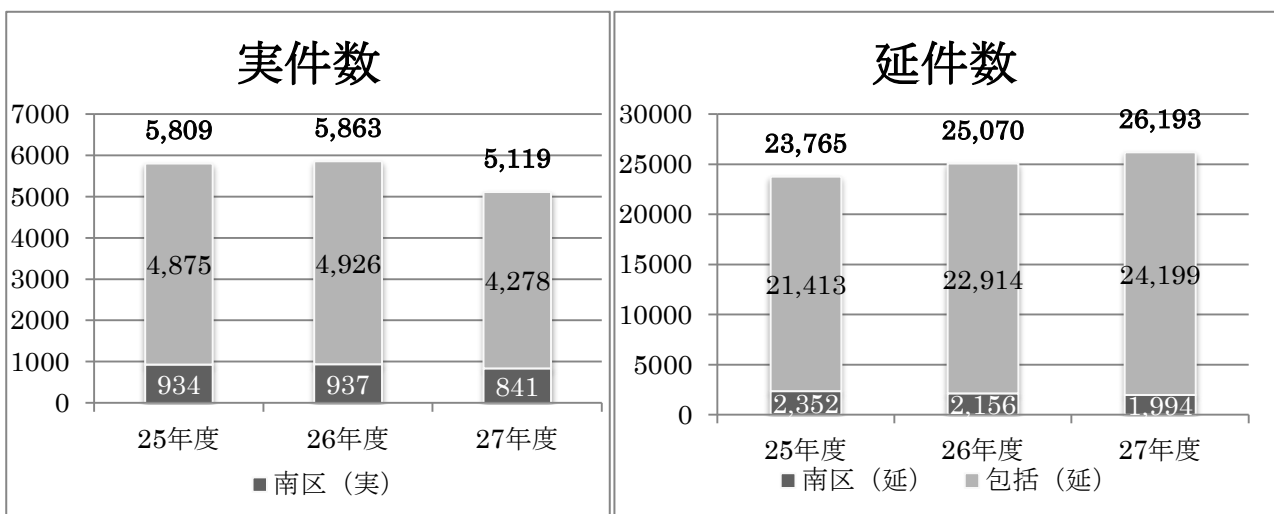
名称	小学校校区
南第1	玉川・西高宮・大楠・若久
南第2	長住・長丘・西長住・大池
南第3	三宅・筑紫丘・東若久
南第4	宮竹・高木・横手・塩原
南第5	弥永・弥永西・野多目・日佐
南第6	老司・鶴田・東花畑
南第7	柏原・花畑・西花畑

【平成27年度から】

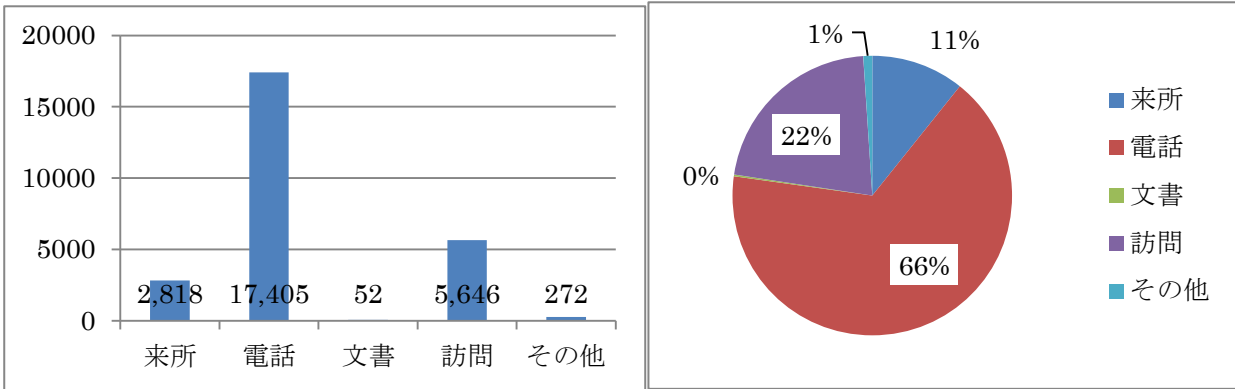
名称	小学校校区
南第1	玉川・塩原
南第2	長住・長丘・西長住
南第3	三宅・野多目
南第4	宮竹・高木・横手・日佐
南第5	弥永・弥永西
南第6	老司・鶴田
南第7	柏原・花畑
南第8	若久・大池
南第9	西高宮・大楠
南第10	筑紫丘・東若久
南第11	東花畑・西花畑



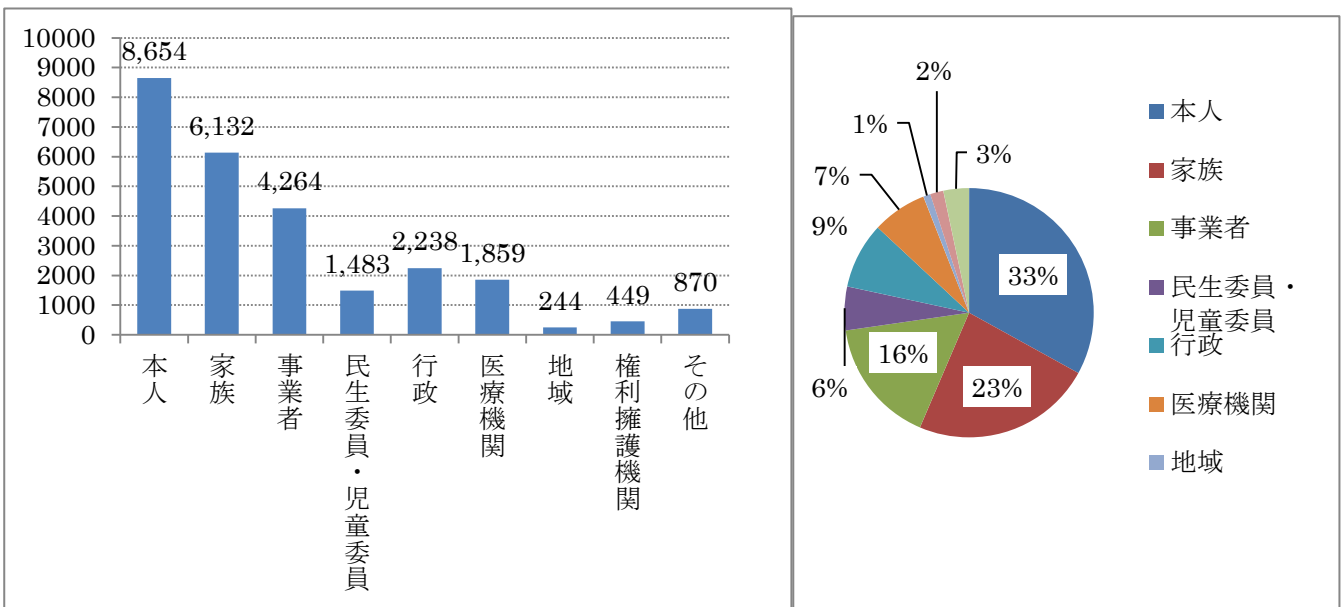
(1) 相談件数の推移



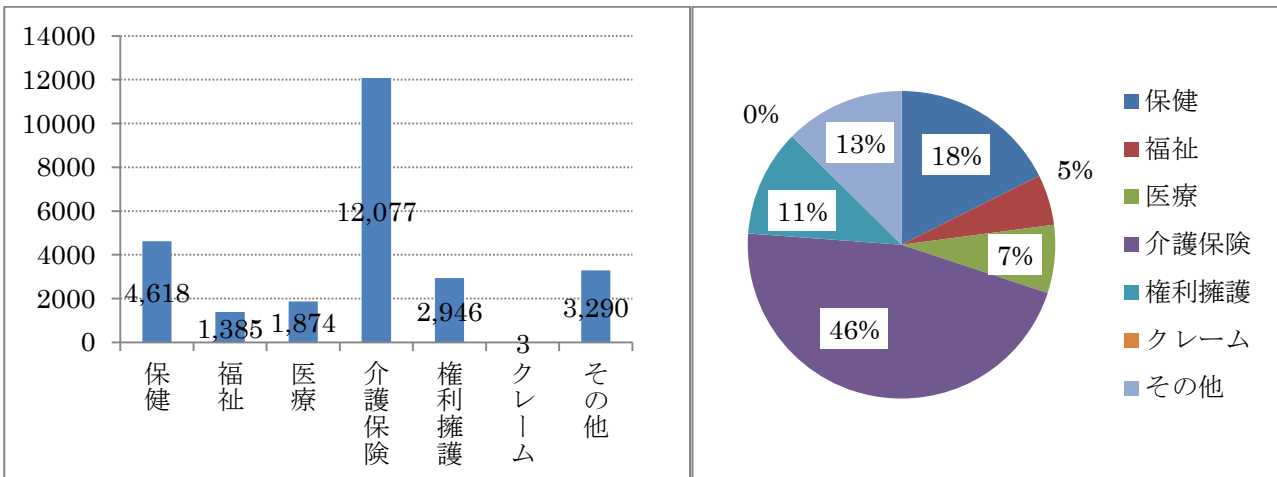
(2) 相談方法 (平成 27 年度延件数 : 26,193 件の内訳)



(3) 相談経路 (平成 27 年度延件数 : 26,193 件の内訳)



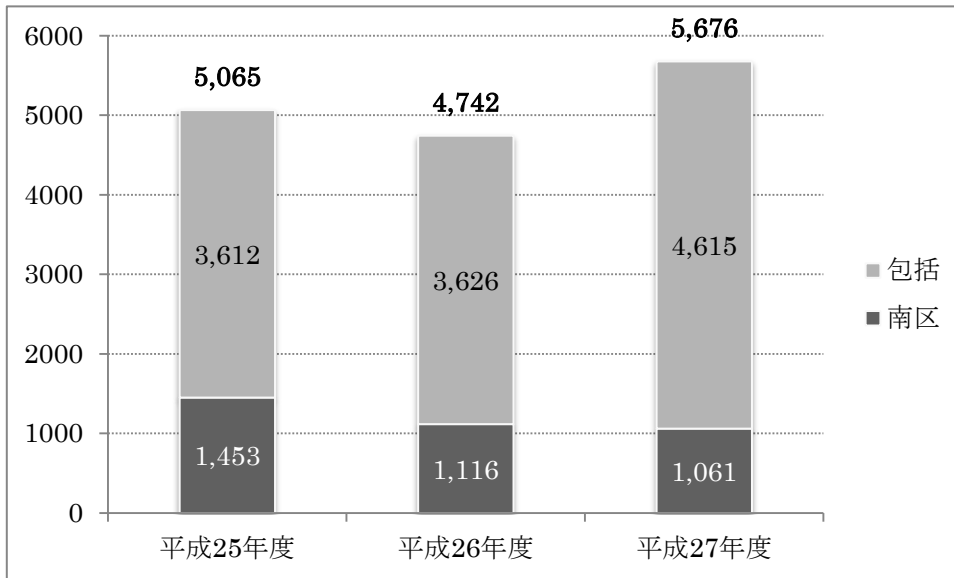
(4) 相談内容 (平成 27 年度延件数 : 26,193 件の内訳) ※第一主訴



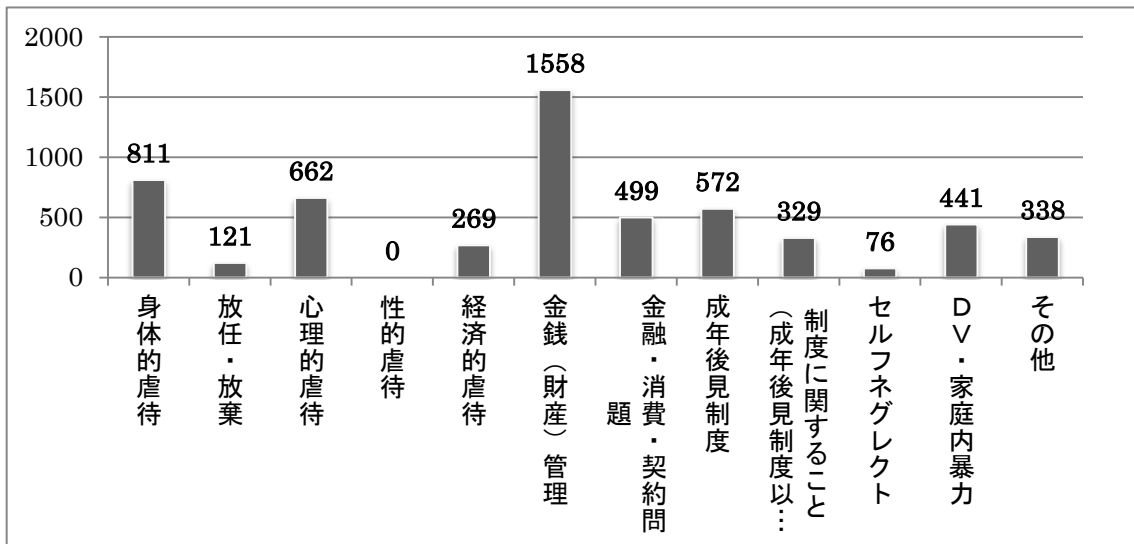
4 高齢者の権利擁護

高齢者が、住み慣れた家庭や地域で安心して尊厳を保ちながら生活することができるよう、高齢者虐待・困難事例への対応、成年後見制度の活用促進など、高齢者の財産を守り、権利の行使を確保し、また、権利の侵害に対しては保護・支援を含めた権利擁護の総合的な取り組みを実施する。

(1) 相談件数の推移（複数選択可）



(2) 相談内容別件数（平成27年度5,676件の内訳）



(3) 成年後見制度利用支援事業

判断能力が十分でない高齢者の支援をはかるため、特に必要があると認めるときは、老人福祉法第32条の規定に基づき、家庭裁判所に対し、市長による成年後見等の開始審判請求を行う。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市長による審判請求	4件	6件	5件
後見人報酬助成	2件	0件	2件

5 認知症高齢者の支援体制

(1) 福岡市徘徊高齢者等ネットワーク事業

①登録制度

あらかじめ高齢者の写真、体格や特徴、緊急連絡先などの情報を登録することにより、登録者を警察が保護した場合、早期に身元を確認し、いち早く家族に連絡できる。登録者の情報は、警察・区保健福祉センター・地域包括支援センターで保管する。

②徘徊高齢者捜してメール（登録制度と同時利用）※平成25年12月開始

認知症高齢者の情報を事前に登録し、行方不明になった場合に、日常生活の中で可能な範囲で捜索に協力していただける「協力サポーター」に行方不明情報をメールで配信し、早期発見・保護をはかる。

③検索システム（登録制度と同時利用）※平成27年度より機器変更

小型軽量の携帯端末（「子機」）が発する電波を親機が受信し、子機までの距離と方向の目安を表示する。認知症高齢者が「子機」を携帯し、家族が「親機」を活用することで高齢者の早期発見・保護につなげる。

		平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
登録制度利用者数		124人	177人	193人
捜してメール	登録者数	33人	88人	132人
	協力サポーター登録者数※	2,772人	4,836人	5,323人
	協力事業者登録数※	562事業者	832事業者	883事業所
検索システム利用者数		18人	20人	20人

※捜してメールの「協力サポーター登録者数」「協力事業者登録数」は、福岡市及び福岡都市圏の一部を含む全域の数値

(2) 一時保護事業

徘徊により警察に保護された認知症高齢者のうち、警察により老人福祉施設等における保護の要請があった場合、迅速かつ適切な保護を行うことで事故の防止をはかる。

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
保護件数	市全体	1件	7件	6件
	うち南区	0件	1件	1件

(3) 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

認知症高齢者を自宅で介護する家族が、外出する時間帯、または介護疲れで休息が必要な時間帯に、認知症高齢者の介護経験等があるボランティア（やすらぎ支援員）が自宅を訪問し、認知症高齢者の見守り、話し相手、家族の相談に応じる。

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用世帯数	市全体	25世帯	22世帯	19世帯
		395回	372回	471回
	うち南区	4世帯	3世帯	3世帯
		25回	36回	67回

(4) 認知症高齢者の支援体制づくり

認知症に対する正しい知識の普及啓発や地域での見守り機能及び関係機関との連携を強化することで、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを促進する。

①認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識を持ち、地域等において認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成する。

受講者は、地域住民・民生委員・町内会・ふれあいネットワーク・小学生・家族介護者など、多岐にわたっており、平成27年度は、警察署、区役所、消防署の職員を対象にも開催した。

- ・対象：地域住民等でおおむね10人以上のグループ
- ・内容：「認知症とは?」「認知症の人と接する時の心構え」等の講演、グループワーク



	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	累計
開催回数	15回	13回	24回	37回	149回
受講者数	451人	567人	2,481人	1,278人	6,896人

※累計については、平成21～27年度の実績を足したもの

②キャラバン・メイト連絡会議

キャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師）同士の連携を強化するとともに、認知症サポーター養成講座の質の向上を図るための連絡会議を開催する。

- ・南区内キャラバン・メイト数：107人（平成27年度末現在）
- ・平成27年度南区実績：1回25人



③南区医師会認知症診療ネットワークとの連携

認知症高齢者や家族の在宅支援を強化するため、南区医師会が立ち上げた認知症診療ネットワーク会員と地域包括支援センター職員との情報及び意見交換会を実施。

開催日	平成28年3月7日(月)
参加者	・医師会31人 ・地域包括支援センター11人 ・区保健福祉センター6人 計48人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・南区医師会認知症診療ネットワークについて ・「地域包括ケアシステム」について ・在宅認知症高齢者支援について（事例・個別支援会議を通して） ・意見交換・情報交換

※南区医師会認知症診療ネットワーク：認知症の診断、治療、ケアにおいて知識の交流・研鑽を行い、南区の認知症診療の質の向上を目指すことを目的とした会。

④「高齢者地域支援事業」「お・も・い・や・りネットワーク事業」での体制づくり

※P16, 17を参照

⑤認知症ケアパス「福岡市認知症ハンドブック」等の普及

認知症ケアの普及・向上を図るため、認知症相談医、主任ケアマネジャー等へ福岡市が作成した福岡市認知症ハンドブック、早期診断に繋げるための啓発リーフレットを配布し活用依頼を行う。その後活用上の課題や活用状況を聞き取り、より広くケアパスが普及するよう取り組んでいく。

認知症ケアパス	認知症の人の生活機能低下の進行にあわせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのか、具体的な機関名やケア内容等を、あらかじめ、認知症の人とその家族に提示するもの
---------	--

(5) 認知症の普及啓発

①自分の認知機能を知る講座【南区主要事業】

「ファイブ・コグ（高齢者用集団認知検査）」を用いて、認知症とは診断されないが、記憶障害と軽度の認知障害が認められ、正常とも言い切れない中間的な段階である「軽度認知障害（MCI）」の早期発見と啓発を促すとともに、自分の認知機能のレベルを知ることにより、認知症予防の動機づけにつなげ、認知症発症の危険因子を減らす生活習慣を身に付けることを目指す。

28年度は年3開設、開催し、内2開設は、認知症予防教室と合体して実施し、より継続的な認知症予防の取り組みにつながるように行っていく。対象の年齢は65歳以上。

高齢者用集団認知検査 (ファイブ・コグ検査)	記憶・学習、注意、言語、視空間認知、思考の5つの認知領域と手先の運動機能を測定するもの。 軽度認知障害の時期に低下する認知機能「エピソード記憶」「注意分割機能」「計画力(思考力)」の中で、どこが低下しているかを測定することが出来る。
---------------------------	---

平成27年度実績 2開設開催

内容	参加者数(実人数)
1回目講演・認知検査 2回目結果説明 3回目有酸素運動の実践	254人(93人)

平成24～26年度実績

内 容		実参加者数		
		24年度	25年度	26年度
必修	・講演「軽度認知障害とは」 ・高齢者用集団認知機能検査及び結果説明(2回コース)	43人	61人	51人
		13人	18人	8人
選択	・認知症予防プログラム体験 (各1回)	オリジナルレシピ作り	11人	22人
		ウォーキング	11人	25人

②その他

地域の団体や町内会などの依頼があれば、区職員が地域に出向き、認知症について正しく理解してもらうための講座を開催する。

- ・平成27年度南区実績：1回48人

6 介護予防事業

(1) 介護予防教室「65歳からの健康づくり教室」(平成27年度新規事業)

自宅でできる運動を中心としてロコモ予防や口腔体操、認知症予防の講話などをあわせて実施する教室(委託事業)であり、参加者が介護予防・健康づくりに取り組むことの楽しさや気軽さに気づき、教室終了後も自分たちで継続して介護予防に取り組むことができるように支援を行う。

- ・対象者：全高齢者（介護保険サービス利用者を除く）
- ・回数：週1回で全5回（1回あたり2時間）を1事業所あたり年間3クール実施
- ・事業所数：南区内11箇所（地域包括支援センターの圏域に1箇所）
- ・定員：1クール20名

		平成27年度
1クール	開催箇所数	10か所
	参加者数(実人数)	538人(120人)
2クール	開催箇所数	10か所
	参加者数(実人数)	518人(121人)
3クール	開催箇所数	10か所
	参加者数(実人数)	471人(108人)
参加者数計		1,527人(349人)

※自主活動グループ：13グループ結成

(2) 認知症予防教室「65歳からの認知症予防教室」(平成27年度新規事業)

認知症予防に効果があるとされる有酸素運動・脳賦活化運動を取り入れた運動中心の教室であり、教室終了後も自分たちで継続して認知症予防に取り組めるよう、自主グループの育成や既存グループへつなぐなどの支援を行う。

- ・対象：全高齢者（介護保険サービス利用者を除く）
- ・回数：全5回（1回あたり1時間半～2時間程度）を年間4クール実施

平成27年度実績

区分	参加者数(実人数)
65歳からの認知症予防教室(5回コース4開設)	435人(99人)

(3) 生き生き講座

地域の高齢者グループへ出向き、運動・栄養バランス・口腔ケア・ロコモ予防・認知症予防・生活習慣病予防・うつ病予防など、健康づくりや介護予防に関する講座を実施する。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
開催回数	153回	152回	198回
参加者数	3,460人	3,514人	4,350人

(4) 運動継続教室

「65歳からの健康づくり教室」及び「65歳からの認知症予防教室」を終了し、運動継続が自信ない方を対象に、自宅でも運動を続けることができるよう、脳トレや簡単な運動をゆっくりとしたペースで実施する教室を開催する。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実施回数	12 回	12 回	8 回
参加者数	208 人	247 人	62 人

※平成 26 年度までは、転倒予防教室やシニア健康教室の修了者を対象に実施

(5) 訪問型介護予防事業

心身の状況により、通所型の介護予防教室等への参加が困難な方を対象に、訪問し生活機能の維持・向上をはかる。

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
被訪問者数	4 人	8 人	0 人

(6) その他の介護予防事業

①介護予防活動支援補助金（年度 1 回募集）

- ・補助金額：初年度 3 万円，以後 1 万円（3 年限度）
- ・補助対象：住民主体で結成された介護予防に取り組む団体
- ・補助事業：運動を通じた健康づくり・介護予防に関する活動，正しい栄養の摂取や食生活改善に関する活動，口腔機能の向上に関する活動，認知症予防に関する活動等

②自主グループへの講師派遣

- ・介護予防教室「65歳からの健康づくり教室」終了後の自主グループ活動に講師を派遣する。

7 地域の特性に応じた地域包括ケアの推進

超高齢社会を迎えるにあたり、支援が必要な状態になっても高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、切れ目のない医療・介護の提供体制づくりのために在宅医療介護の連携推進や、地域の特性を活かした自助・共助の仕組みづくりを行う「高齢者地域支援事業」、「お・も・い・や・りネットワーク事業」を関係機関、団体と協力・協働で実施している。

またそれぞれの取り組みを行っていくうえで課題の抽出やネットワーク構築、地域づくりなどを旨し、平成27年度から区やいきいきセンターふくおか主催で、地域ケア会議を区レベル、概ね中学校区レベル、小学校区レベル、個別レベルで開催している。

(1) 在宅医療介護連携の推進

26年度に実施した医療介護の連携強化モデル事業から抽出された課題を共有し、解決策を検討するとともに、多職種間でお互いの役割理解や課題検討のため情報交換会や研修会等を行った。

- ① 在宅医療・介護部会 (※地域在宅医療推進事業・南区多職種連携研修と合同開催)
課題の共有や、多職種連携の強化に向けての研修会及びグループワークを行った。各回2～3団体がチームを組み、内容の検討や会議の運営を行った。(5回開催)
構成団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療ソーシャルワーカー協会、
介護支援専門員連絡協議会、訪問看護ステーション連絡協議会、行政
テーマ：退院時連携、救急医療 等
- ② 区認知症診療ネットワークとの連携事業
医師会が立ち上げた認知症診療ネットワーク会員と、いきいきセンターとの意見交換会等を開催した。事例を通して医療・介護連携の現状や課題を共有した。
- ③ 福岡市退院時連携の基本的な進め方の手引き(完成版)の周知・啓発
- ④ 区における同一業種の連絡会との連携による取り組み

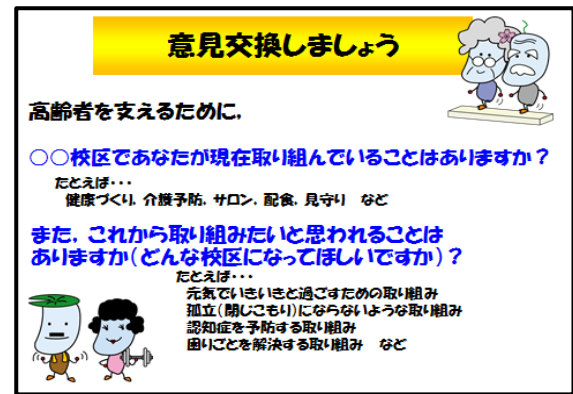
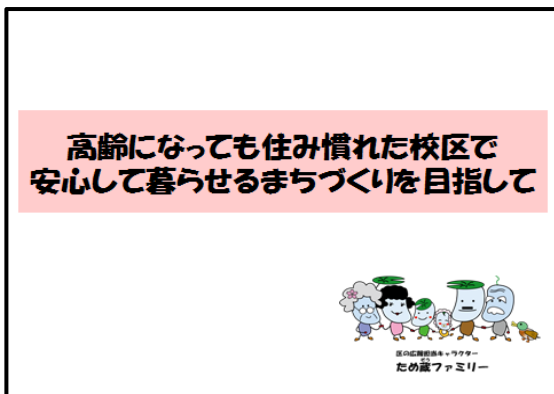
訪問看護ステーション	訪問看護ステーション連絡協議会立ち上げに向けての支援。9月に設立。
医療ソーシャルワーカー	MSW連絡会に参加(4回)。いきいきセンターも参加し、病院間の情報交換や連絡を行った。
介護支援専門員(ケアマネジャー)	介護支援専門員連絡協議会「ささえあいの会」の世話人会への参加や研修会支援を行った。
小規模多機能ネットワーク	情報交換を行い、介護支援専門員との連携の調整を行った。

(2) 高齢者地域支援事業 平成 27 年度開始

高齢者を取り巻く状況や課題について、地域と区役所で話し合う「高齢者地域支援会議」を開催。南区では全 25 校区で開催する「健康なまちづくり懇談会」の意見交換の場を位置付けて実施。

会議では、高齢者を取り巻く状況を説明し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに必要な「生活支援」と「健康づくり（介護予防）」の取り組みについて協議した。

会議開催後は、地域の特性を活かした自助、共助の仕組みづくり（見守り、居場所づくり、介護予防など）の実施に向けて合意形成が得られそうな校区等へ働きかけを行っている。



平成 27 年度「健康なまちづくり懇談会」の意見交換（高齢者地域支援会議）資料

平成 27 年度高齢者地域支援事業実績

校 区	内 容
25 校区(全校区)	健康なまちづくり懇談会の場で、地域で高齢者を支える取り組みについて意見交換を行った。

その後の取り組み

校 区	内 容
大楠（社会福祉協議会）	見守りマップを活用した訪問活動（26 年度から継続実施）
西花畑（桧原地区）	地区の課題について専門職と地域住民とで協議
三宅	ふれあいネットワーク全体研修会を活用し校区課題を協議
若久	民生委員役員会を活用し校区課題を協議
長住・西長住（長住団地）	ふれあいネットワーク、UR、圏域ケアマネジャーとが連携した見守り活動

(3) お・も・い・や・リネットワーク事業【南区主要事業】 平成26年度開始

「南区地域福祉ネットワークづくりモデル事業（平成23年度～平成25年度）」をもとに、校区における「災害時の避難支援」「日頃の見守り活動」「認知症の方への対応」などの高齢者の支援体制づくりを区役所と区社会福祉協議会等が応援する事業。

平成27年度は、野多目校区の「災害時の避難支援を目指した各町内における日頃の見守り体制づくり」と弥永校区の「認知症の方とその家族が安心して暮らせるまちづくり」を目指した取り組みの支援を行った。

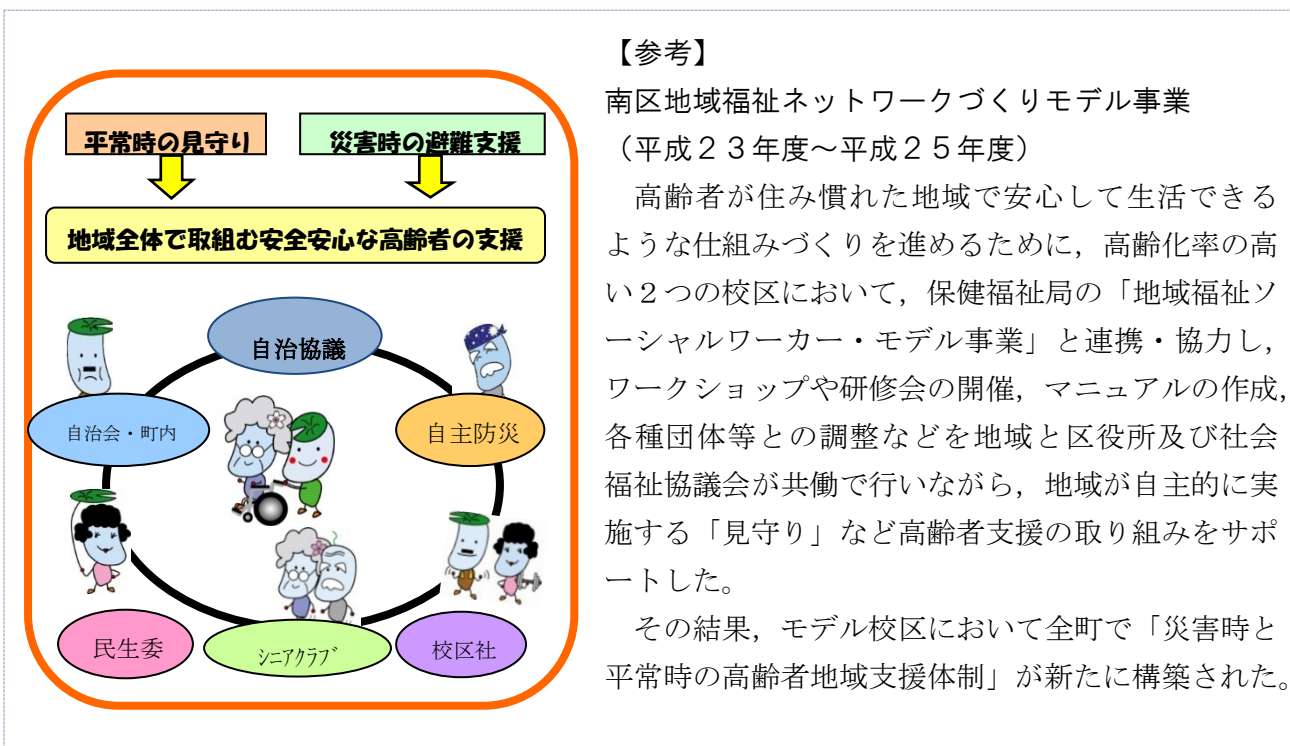
平成28年度は、弥永校区の取り組みに加え、新たに筑紫丘校区での高齢者を支援する取り組みを区役所関係課と社会福祉協議会とで連携して支援を行う。

（2校区／年度，1校区2年程度）

なお、筑紫丘校区を含む筑紫丘中学校圏域（筑紫丘校区・東若久校区）には、今年度から、地域にある社会資源の調査及び情報の整理を行い、生活支援や介護予防に関わる地域の取り組みに繋げる役目を担う「生活支援コーディネーター（南区社協職員が兼務）」を配置しており、この「生活支援コーディネーター」とも連携していく予定である。

平成27年度「お・も・い・や・リネットワーク事業」実績

校区	開始年度	ワークショップ 研修会等		校区での会議 打ち合わせ	関係課会議
野多目	平成26年4月～	2回	125名	6回	2回
弥永	平成26年12月～	2回	47名	12回	



8 南区高齢者福祉の実施状況

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
敬老金・敬老祝品の支給	2713 件	2,753 件	2,960 件
高齢者乗車券の交付（※）	19,558 件	18,953 件	20,199 件
緊急通報システム	936 件	977 件	972 件
声の訪問	63 件	61 件	81 件
配食サービス	58 件	48 件	38 件
日常生活用具給付	22 件	23 件	24 件
養護老人ホーム入所	62 件	61 件	65 件
安心ショートステイ	386 件	449 件	475 件
住宅改造助成	22 件	17 件	21 件
おむつサービス	595 件	620 件	688 件
寝具洗濯乾燥サービス	6 件	8 件	6 件
移送サービス	16 件	14 件	20 件

※高齢者乗車券について、当該年度の交付期間が9月1日から始まり、翌年度の9月30日までとなる。

（例：平成25年度分の交付期間は、平成25年9月1日～平成26年9月30日まで）

そのため、平成27年度の件数は、平成28年6月末現在までで集計した数値となっている。